



神崎町と印西市で出前あすなろ塾を開催しました。神崎町では「保護者との関係づくり～生徒指導・保護者対応のケース演習」と「教材研究と問い」の研修に19名の先生方が、印西市では「学級づくりのポイント～個を育てる」と「分かる・できる授業づくり」の研修に11名の先生方が参加しました。研修は、講話や演習に話し合い等、とても盛りだくさんの内容でしたが、参加者の皆さんは、今後のよりよい学級づくりや授業づくりに向けて、非常に熱心に取り組まれました。

## 神崎町（令和6年6月3日）

### 当日の様子と 参加者の声



保護者との関係づくりや教材研究について、今日のように具体的な内容について学ぶ機会が少なかったため、これからこの研修で学んだことを生かしていきます。



保護者との関係づくりでは、保護者の思いを受け止めて傾聴することを、そして、教材研究では生徒が考えたい授業を構成することを心がけていきたいと思っています。



保護者との良い関係がつけられるよう傾聴をしていきます。子供たちが、進んで考えたい学習問題や授業の導入が出来るように教材研究をしていきたいと思っています。

## 印西市（令和6年6月4日）

### 当日の様子と 参加者の声



- ・メッセージやコーチングの方法は、もっと実践に生かせるようスキルを磨きたいと思いました。
- ・とても勉強になりました。今まで難しいと思っていたところがこれから変えていける気がします。



- ・学校生活の中で生徒との関わりや授業での問いかけ等、色々な場面で活かしていきたいと思っています。
- ・次回以降の研修も楽しみにしています。学んだことを次の日からすぐに実践していきたいです。



最近の生徒に対する言葉かけや指導の仕方を再確認できて良かったです。グループワークで、他の先生方と意見交換ができ、楽しく研修ができました。ありがとうございました。